

鳥取大学工学部電気電子工学科同窓会

湖鳥会会報

第9号 平成17年12月 鳥取大学 工学部 電気電子工学科 同窓会 「湖鳥会」



〈目次〉

- 学科長あいさつ
- 会長あいさつ
- 電気電子工学科職員一覧
- 教職員からのあいさつ
- 同窓会だより
- 平成16年度事業報告・平成17年度事業計画
- 平成15・16年度決算報告 平成17年度予算報告
- 湖鳥会役員一覧
- 湖鳥会からの連絡

鳥取大学電気電子工学科同窓会

「湖鳥会」事務局連絡先

〒680-8552 鳥取市湖山町南4丁目101番地

鳥取大学 工学部電気電子工学科 気付

電気電子工学科同窓会「湖鳥会」

TEL : 0857-31-5247 FAX : 0857-31-0880

E-mail : kishida@ele.tottori-u.ac.jp, mohki@ele.tottori-u.ac.jp

ホームページ <http://kocyoukai.ele.tottori-u.ac.jp/>

◇学科長あいさつ◇



電気電子工学科の改革

電気電子工学科長 中 井 生 央

皆様も新聞紙上などでご存知のことと思いますが、「国立大学」は2004年4月に法人化され、本学も「国立大学法人」鳥取大学となりました。この法人化は「国立大学」としての鳥取大学が1949年に発足して以来の最大の改革にあたります。この改革の大きな目的は、大学自身に経営の自由度を与え、大学を活性化することにあります。そのための大学としての、また工学部としての6年間の中間目標を設定し、その達成度を評価されるようになります。「国立大学」のときは、国からの予算で全て賄われていましたし、そのためその用途も細かく国によって定められていました。しかし法人化されてからは、大学自身で授業料等もある幅の中で自由に設定でき、また自己収入を確保するなど、学長、理事など大学トップのリーダーシップがこれまで以上に求められるようになりました。今年はこの法人化の2年目にあたり、変革の兆しが徐々に現れようとしています。

ところで、この法人化は組織面という外面からの改革ですが、本学科ではこの法人化以前から教育面という内面からの改革を推し進めています。本学科の重要な役割は、より良い教育を提供し電気電子工学の幅広い分野で活躍できる卒業生を育成することにあります。そのため1998年から教員の講義を参観し教え方の問題点を明らかにするための「公開授業」を始め、また2001年には学科内に教育改革委員会を組織し、「分かりやすい授業」を提供できるよう教育方針の改善を行ってきました。更に、2004年にはJABEE（日本技術者教育認定）が行う教育プログラムの審査に合格し、「JABEE認定学科」となりました。JABEE認定とは、学科の学生が受ける授業内容に関しての審査を行い、一定の水準にあるという証明です。2003年以降の本学科の卒業生には、卒業証書とは別にJABEE認定証が交付されます。この認定証を持つ卒業生はアメリカやカナダに行っても、一定水準の教育プログラムを修了したことが認められます。2003年は全国の大学の電気電子工学科でも、この認定を受けたのは10校に満たない数で、本学科は全国でもこの認定を受けた数少ない学科です。今年はその中間審査を受け、また教育カリキュラムの改定を行い、更なる教育内容の改善に努めています。

卒業生の皆様には今後とも電気電子工学科へのご支援をよろしくお願いします。最後になりましたが、卒業生の皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

◇会長あいさつ◇



湖鳥会会長 鷲 見 育 亮

湖鳥会（鳥取大学工学部電気電子工学科同窓会）の皆様にはご健勝にて、ご活躍の事と拝察いたしております。鳥取大学工学部は、今年創立40周年を迎えました。電気工学科と、その後作られた電子工

学科と一緒にあった電気電子工学科の同窓会として、湖鳥会は平成元年に設立され、お陰様で今年17周年を迎えます。まずはこの場をお借りして、皆様にご心から御礼申し上げます。本同窓会が皆様のご理解・ご支援によって、現在においても多くの同窓生を迎えることができるのは、特筆すべきことだと思っています。

戦後のベビーブームの世代に生まれ、右肩上がりの日本経済に支えられ、電気・機械の2学科が時代の必要性に連動して設立された鳥取大学工学部は当時3期校として3月下旬に入学試験を行い、そのとき窓の外では、雪がちらついていたような思い出があります。そして一期生が入学をいたしました。その後数年間は、後年になって団塊の世代と言われる方々が入学されました。

この頃入学した世代、親から、「生まれた当時、そのころの日本は敗戦の焼け跡が生々しく、まだ着る物も満足になく、その日暮らしてとても現在の繁栄が想像できることもなく・・・」と聞かされて育った世代でした。戦後日本はわが世代の親達が築き上げ、我々と共に歩み、共に成長してきました。ご存知のように、日本企業躍進の3本柱は、「年功序列、終身雇用、企業別組合」であり、これが日本企業の基本スタイルであったわけです。これが日本躍進の「三種の神器」と言われています。

そしてこの世代が定年を迎える時期になってきました。今、日本経済の停滞の中、このスタイルが崩壊に向かっています。労働環境・社会環境共に我々の学生時代とは大きく異なり、今団塊の世代が定年を迎える時期、大きな節目の世紀になっていくでしょう。

先輩としての我々が、先の見えない21世紀に対して、学生達に期待することは大であります。先人の役目として日本のよき伝統を、21世紀を担う人達に伝え、残していかなければなりません。将来を担う学生達にとって今の日本がさらなる成長を続けるためには、大学は教育がどうあるべきかという視点に今一度立ち返らなければなりません。

同窓会とは「卒業生の皆さんの思い出をお預かりする場所を創ること」であるという一念を持って、事務局共々励んで参りました。これから表舞台で活躍する後人のために、皆と語れる場を用意しておくことは大きな使命であります。これからも、本同窓会が皆様にとっての思い出の場、憩いの場、役に立つ場であるよう、運営していきたいと考えております。今後とも、よりよい同窓会の実現のために皆様のご理解、ご協力をどうぞ宜しくお願い致します。

○電気電子工学科 在籍生（平成17年1月1日現在）

工学部 電気電子工学科・在籍学生数 319名

大学院 工学研究科電気電子工学専攻博士前期課程・在籍学生数 65名

同情報生産工学専攻後期課程電子情報システム講座・在籍学生数 8名（電気電子関係）

○電気電子工学科 卒業生（平成16年4月1日現在）

昭和44年3月から平成14年3月までの学部卒業生 2615名

旧電気工学科卒業生 966名（1回生：昭和40年4月入学～24回生：昭和63年4月入学）

旧電子工学科卒業生 809名（1回生：昭和43年4月入学～21回生：昭和63年4月入学）

電気電子工学科卒業生 982名（1回生：平成元年4月入学～12回生：平成12年4月入学）

昭和46年3月から平成14年3月までの大学院修士（博士前期）課程修了者 561名

旧電気工学専攻修了生 128名（1回生：昭和44年4月入学～24回生：平成4年4月入学）

旧電子工学専攻修了生 167名（1回生：昭和47年4月入学～21回生：平成4年4月入学）

電気電子工学専攻修了生 326名（1回生：平成5年4月入学～10回生：平成14年4月入学）

平成9年3月から平成14年3月までの大学院博士後期課程修了者

情報生産工学専攻（電子情報システム講座）修了生の内37名

（1回生：平成6年4月入学～9回生：平成13年4月入学）

◇教職員の任用・転任・退職◇

電気電子工学科

氏名	学年																
	1987	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
＜現任教員＞																	
大北 正昭	← 4/1 電気工学科から →																
大木 謙							2/1 採用										4/1 採用
伊藤 良生							4/1 採用										3/1 採用
藤井 裕	← 4/1 電気工学科から →																
藤村 悠太郎							7/1 教務員から										
西守 克巳	← 4/1 電子工学科から →																
西村 亮											4/1 山形大から						4/1 採用
小畑 亮介	← 4/1 電子工学科から →																
青藤 剛史																	4/1 総合情報科学大から
加藤 義人	← 4/1 電気工学科から →																
岸田 悟	← 4/1 電子工学科から →																
大観 光徳					11/1 採用												
中井 光次											4/1 教務部から						4/1 採用
小野 邦男											4/1 採用						12/1 採用
安東 孝止											4/1 採用						
阿部 友記																	4/1 採用
＜技術専門職員＞																	
花崎 知幸	← 4/1 電子工学科から →																
石原 永信	← 4/1 電子工学科から →																
立木 純夫	← 4/1 電気工学科から →																
常田 洋文	← 4/1 電気工学科から →																
＜事務＞																	
山本 裕子																	3/2 採用
熊中 明子																	2/2 採用
石所 祥子																	5/16 採用
＜退官・死亡＞あいうえお順																	
石田 雅																	4/1 教務員から → 5/1 総合情報処理センターへ
成谷 圭介	← 4/1 電気工学科から → 3/31 停年																
大内 伊朗																	4/1 教務部から → 3/31 停年
岡崎 謙三	← 4/1 電子工学科から → 4/1 福祉大へ																
北川 雅彦																	4/1 採用 → 3/31 短期退職
小林 洋志	← 4/1 電子工学科から → 3/31 停年																
青藤 峰幸	← 4/1 電気工学科から → 4/1 教育学部へ																
佐倉 博	← 4/1 電子工学科 → 3/31 停年																
菅原 一礼																	4/1 採用 → 8/1 総合情報工学科へ
高橋 誠	← 4/1 電気工学科から → 3/31 停年																
田中 富博	← 4/1 電子工学科から → 9/15 死亡																
池崎 平蔵	← 4/1 電子工学科から → 3/31 停年																
藤田 良男																	4/1 大塚大から → 3/31 停年
原田 久前	← 4/1 電子工学科から → 4/1 共通講義へ																
宮崎 和彦	← 4/1 電気工学科から → 10/31 退職																
松浦 興一	← 4/1 電子工学科から → 3/31 停年																
加藤 節	← 4/1 電気工学科から → 3/31 停年																
志山 秀樹	← 4/1 電子工学科から → 11/15 年9/30 退職																

◇教職員からのご挨拶◇



電子物性デバイス講座・助教授

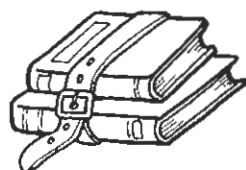
市野 邦 男

ご指名により紙面を埋める役目を仰せつかりました。

大学を出て鳥取大学に赴任して11年余り、私がかれこれに続けて住んだ場所として、いつの間にか鳥取が一番長くなりました。このごろでは家庭でも子供たちにより鳥取の言葉が飛び交っています。また最初の頃に卒論、修論でお付き合いした学生の皆さんはそろそろ会社でも中堅になってこられたようで、時折活躍ぶりを耳にするようになり、嬉しく思っています。

私自身は当初の9年間は小林洋志先生のもとで北川雅彦先生とともに固体電子工学分野のスタッフとして教育・研究に従事してきました。その後、小林先生のご退官、そしてまったくの予想外のこととして田中省作先生のご逝去という出来事がありました。また北川先生が鳥取県へ出向中ということもあり、この4月からは中井生央先生と新たに電子材料工学分野という名前の研究室で教育・研究に従事しています。その一方で小林・田中研究室からのつながりがある電子物理工学分野の大観光徳先生のグループとも一部連携して研究をおこなっています。

現在の研究テーマは、従来から継続している発光デバイス用のワイドバンドギャップ半導体に加え、発光ダイオード照明用の薄膜蛍光体、また基礎的研究として磁性半導体などを手がけています。ここ数年は私自身落ち着かない部分もありましたが、改めて腰を据えて先を見渡した研究・教育に従事したいと(授業その他に追われながらも)思っております。



電気電子システム講座・助手

齋 藤 剛 史

同窓会の皆様、初めまして。

私は2004年5月より鳥取大学工学部電気電子工学科の助手として着任しました。所属は電気電子システム講座、電子回路工学研究室です。私の出身は静岡県浜松市です。皆さんは浜名湖をご存知ですか？浜名湖の北東に私の実家があります。雪の降らない温暖な地域で、お茶畑やみかん畑に囲まれながら育ち、地元の工業高校を卒業後、豊橋技術科学大学工学部情報工学系(愛知県豊橋市)に進み、同大学院を修了しました。着任するまで鳥取に来たことがなく、雪国?の生活を初めて体験しました。まだ1年しか経っていないため、私にとって雪は新鮮です。皆さんは嫌がるかも知れませんが、私は雪が降る日が待ち遠しいです。

学生時代は画像処理、パターン認識に関する研究に取り組んでいました。今は、さらに音声処理やシステム開発に取り組んでいます。情報系の学科出身のため電気電子分野は苦手な部分もありますが、少しずつ学んでいきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

最後に、私は気楽な性格ということもあり「プラス思考」主義者です。勉強や研究だけでなく生きていく上で、いろいろとマイナス面が生じてくるでしょう。ですが、マイナス面をそのまま受け入れず、プラス面として考えて下さい。明るい未来が待っていますよ。→このモットーで学生に指導していきます!!

退職その後



松 浦 興 一

湖島会の皆様お元気ですか。

私は、大阪大学原子力工学科助手から1968年新設の電子工学科の教官として2番目に着任し、

三十数年間を鳥取大学で過ごし、多くの方々のお陰で本年3月末に定年退職しました。

着任早々、電気工学科第1期生の卒業研究のお手伝いをさせて頂きました。その学生さん達の中には、私より早く定年を迎えた方もおられ、時の流れの速さを実感しています。

退職直後は、すでに殆どリタイヤしている大学時代の友人が何人か鳥取を訪ねてきてくれ、高等学校や小中学校の時代の友人ともたびたび会う機会を持ち、久方ぶりに旧交をあたためる日々を過ごしました。

私は阪大の電気工学科に入学して、枚方にあった学生寮(4人部屋)で学生時代を過ごしました。同室の先輩のギターを時々借りて見よう見まねで弾いていましたが、いつかはきちんと習うつもりでいました。退職して直ちにギター教室に通い始めました。現在は、ギター練習を生活の中心の生活で、ときに、近場の漁港で釣り糸を垂らし、元気に過ごしています。7月にはギター発表会で拙い演奏をしたり、9月には米子で開かれた、世界的に有名なギタリストの演奏会の前座としてのギターアンサンブルに加えさせて頂いたりしています。話を聞くとすごそうに思う方もおられるかも知れませんが、実態は、「枯れ木も山のにぎわい」のたぐいです。

いつも思っていたことですが、学生さんが、卒業研究の発表なり、学会発表などを経験すると、急成長します。私のギターの先生も似たような事を期待して、私に機会があれば発表するように勧めてくれていると思っていますが、卒研発表をした学生のように成長できないのが、些か残念です。

先日、電子工学科第7期生の同窓会に、西守・岸田両先生と一緒に参加させて頂きました。出席した皆さんのご活躍の様子を聞くにつけ、有為の人材育成に些かなりとも貢献できたことを、嬉しく、そして誇りに思いました。

皆様方のますますのご健勝をお祈りしています。

2005年9月

◇同窓会だより◇

昭和49年度入学・電気工学科
同窓会を開催！

平成17(2005)年9月17日(土)17時から、
鳥取駅前旅館“丸茂”にて昭和49年度入学・電

子工学科の同窓会が開催されました。世話人である田中章人氏は30年ぶりにもかかわらず、入学当時の40名の連絡先を明らかにし、15名の卒業生と3名の教員(西守克己先生、松浦興一先生(平成17年3月退官)、岸田)の18名が30年近く前の話や近況を語り合い、時間が経過するのを忘れて、楽しい時間を過ごすことができました。さらに話は尽きないので、旅館の一部屋で二次会も開催されました。卒業生の皆様のご活躍と元気な姿を拝見し、懐かしく思われるとともに仕事の重要さを再認識することができました。参加されました卒業生の皆様並びに教員の皆様に感謝いたします。

なお、この記事は同窓会終了後に卒業生の方から頂きました写真やビデオをもとに岸田が世話人にご了承いただき、作成いたしました。田中氏からの追加連絡で11月18日(金)に関東在住の同窓会が開催されたそうです。



◇ 事業報告 ◇

2005年8月5日

湖島会幹事：大木 誠

鳥取大学工学部電気電子工学科
同窓会「湖島会」理事会
事業報告および事業計画

日 時：平成17年8月5日(金)18:00～19:00
場 所：“さざんか会館”研修室

参加者：6名、委任状20名 *宛名不明9名、
通知71名

●平成15・16年度 事業報告

1. 学内幹事の交代・引継ぎ作業

前任（幹事：北川、会計：藤村）から新任（幹事：大木、会計：岸田）に交代した。これに伴い、引継ぎ作業を行なった。今回の引継ぎ以前に関する収支に関しては特別会計を設置して対応する。

2. 平成15・16年度卒業・修了生の入会手続きおよび会費徴収

平成15年度卒業・修了生52名、並びに平成16年度卒業・修了生74名の入会手続きを行ない、会費5000円を徴収した。

3. 名簿データ管理・修正作業・ホームページ更新

卒業生からの連絡に基づき、名簿データの管理、修正を行った。ホームページ新設・更新を行なった。

4. 会報の発行

平成15年に約5年ぶりに会報（特集号）発行した。会長の特別承認で、会計報告なども記載されていない。

5. 慶弔関連など

平成17（2005）年3月の松浦先生退官に際し、3万円を贈呈した。

●平成17年度 事業計画

1. 入会手続き・会費徴収作業

平成17年度卒業生の入会手続きおよび会費5000円の徴収作業を行う。

2. 名簿データ管理・修正作業及び名簿発行の準備

卒業生からの連絡に基づき、名簿データの管理、修正を行う。パート職員を雇用して、作業の効率化をはかる。

3. 会報の発行、会費の徴収、ホームページ更新

12月頃を目途に会報を発行する。また、あわせて会費を徴収する。学科同窓会のホームページ更新を行なう。

4. 理事会の開催

理事会を開催し、事業報告、事業計画、会計報告、予算を審議する。

5. 事務局の設置と運営

年間予算30万円程度で事務局を設置し、運営を行なう。

6. 平成17年度特別会計について

平成17年度一般会計の不足分は特別会計を使用する。

7. その他

- ・ 県外（大阪・東京）での同窓会主催の講演会を検討する。
- ・ 平成18年度・役員改選・準備

◇平成15・16年度決算報告◇
◇平成17年度予算◇

収入の部（単位：円）

項目	平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
同窓会・設立基金	0	0	0
入会金	275,000	260,000	260,000
会費	0	153,000	0
その他	18,819	253,104	0
前年度繰越金	0	33,530	194,080
合計	293,819	699,634	454,080

支出の部（単位：円）

項目	平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
設立総会準備費用	0	0	0
会報発行	209,470	0	400,000
名簿発行	0	0	0
名簿管理アルバイト	32,000	30,000	0
総会補助	0	0	0
支部結成準備費用	0	0	0
事務費	0	6,000	300,000
会議費	0	5,100	0
通信費	0	28,350	0
慶弔関連	0	30,000	0
その他	18,819	406,104	0
繰越金	33,530	194,080	0
合計	293,819	669,634	700,000

◇特別会計◇

収入の部（単位：円）

項目	2004年度決算
通帳解約など	2,303,871
合計	2,303,871

◇ 湖島会役員一覧 ◇

会長 (1名)

鷺見育亮 (第1回電気・鳥取環境大)

副会長 (若干名)

川端哲夫 (第2回電気・東芝)

安木秀明 (第3回電気・鳥取三洋)

豆田順一 (第1回電子・日立製作所)

監事 (2名)

松岡良明 (第1回電気・鳥取三洋)

井上捷太郎 (第2回電子・鳥取三洋)

幹事 (若干名)

加納尚之 (第17回電気・米子高専)

岸田 悟 (第4回電子・鳥取大学)

北川雅彦 (第3回電子・鳥取大学)

田中堅太郎 (第7回電子・鳥取三洋)

藤村喜久郎 (第14回電子・鳥取大学)

西浦順一 (第15回電子・日本セラミック)

有岡正登 (第17回電子・日本セラミック)

大木 誠 (第18回電気・鳥取大学)

安東孝止 (第3回電気・鳥取大学)

理事 (若干名)

藤井壽士 (第1回電気・近畿電気工事)

松本昭夫 (第2回電気・三菱電機)

奥田和基 (第4回電気・西部電気建設)

山下政美 (第4回電気・リコーマイクロ)

石田義則 (第5回電気・日立製作所)

畑 博道 (第5回電気・自営業)

川上孝志 (第6回電気・鳥取三洋)

深田哲司 (第6回電気・松下電器)

安宅善策 (第7回電気・日立製作所)

原田光夫 (第7回電気・鳥取三洋)

森山秀樹 (第8回電気・東芝)

清水 恵 (第9回電気・三菱電機)

宮脇一彦 (第9回電気・鳥取三洋)

大賀昌二 (第10回電気・日立製作所)

河野仁志 (第10回電気・東海旅客鉄道)

春日貴幸夫 (第11回電気・鳥取情報処理学校)

表 則夫 (第13回電気・鳥取三洋)

岸田達治 (第14回電気・鳥取三洋)

竹内克徳 (第14回電気・鳥取三洋)

草野浩幸 (第15回電気・鳥取県工業試験場)

吉田清春 (第15回電気・鳥取三洋)

田淵一十志 (第16回電気・鳥取三洋)

米村幸雄 (第16回電気・リコー鳥取技術開発)

里 友成 (第17回電気・鳥取三洋)

山方秀則 (第17回電気・鳥取三洋)

立花慶治 (第18回電気・大学生協)

山根一博 (第18回電気・鳥取三洋)

原 雅人 (第19回電気・鳥取空港)

村上 博 (第1回電子・ニッポ電機)

楯 啓一 (第2回電子・三菱電機)

寺谷茂樹 (第3回電子・鳥取三洋)

重村 豊 (第4回電子・三田工業)

栗本保夫 (第5回電子・福田設備設計事務所)

山根幹仁 (第6回電子・鳥取三洋)

岡 照浩 (第8回電子・日立通信システム)

岡本公夫 (第8回電子・竹田電子工業)

河原宏之 (第8回電子・日本電装)

北川勝則 (第8回電子・松下電器)

桑田孝明 (第8回電子・日本電気)

岡垣光則 (第9回電子・鳥取三洋)

原川藤夫 (第10回電子・持田製薬)

三木公保 (第11回電子・三井造船)

椎木正敏 (第12回電子・日立製作所)

出口浩司 (第13回電子・リコー)

西村 晋 (第13回電子・鳥取三洋)

堀 和人 (第13回電子・三田工業)

尾前充弘 (第14回電子・鳥取三洋)

福島 淳 (第14回電子・日本電気)

大塩祥三 (第15回電子・松下電器産業)

小林靖弘 (第15回電子・三洋電機)

水口洋一 (第15回電子・日本電装)

塩 豊 (第16回電子・リコーマイクロ)

井上 修 (第17回電子・リコーマイクロ)

古川公彦 (第17回電子・三洋電機)

村上 誠 (第18回電子・鳥取三洋)

電子メールアドレス

会長及び学内幹事の電子メールアドレスを以下にのせておきます。

湖島会へのご意見やこの欄での記事等がありましたらご連絡お願い致します。

氏名	電子メールアドレス
安東 孝止	ando@ele.tottori-u.ac.jp
鷺見 育亮	sumi@kankyo-u.ac.jp
大木 誠	mohki@ele.tottori-u.ac.jp
岸田 悟	kishida@ele.tottori-u.ac.jp
藤村喜久郎	fujimura@ele.tottori-u.ac.jp
ホームページ	http://kocyoukai.ele.tottori-u.ac.jp